



尾久八幡

令和4年度1月号
令和5年1月13日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 近江 貞之



実りある一年にするために

校長 近江 貞之

2学期の終業式の日、「今年の反省を行い、新年の目標を立てて、3学期を迎えてほしい」と話をしました。生徒の皆さんは、昨年を振り返り、新年の目標を立てることはできたでしょうか。

さて、この年末年始には、駅伝やバスケットボール、サッカーやラグビー、バレーボールなどの競技で、皆さんとほぼ同年代の高校生たちが全国の頂点を目指す大会が行われていました。出場した選手たちは、日々絶え間ない努力を重ね、「全国大会出場」という目標を達成し、充実した思いでさらに上位を目指して挑戦を続けていました。私たちは、そのひたむきに挑戦する姿に感動し、「自分も頑張ろう」と勇気をもらいます。

全国大会に出場し、ましてやその頂点に上り詰めることは、容易ではありません。多くの高校生たちは、思い半ばにして勝負に敗れ、大会から去っていきます。しかし、私は、出場した全ての高校生たちが、成果を得られたと思っています。

勝利での目標達成はできなかったかもしれませんが、「負けた」という事実を受け入れて、次回、またはこれからも「頑張る」など、経験を次に進む力に変えて、再び目標に向けて挑戦し続けることこそが成果であると考えます。そして、その人なりの成果を勝ち取るまでは、試合の勝敗は途中経過でしかなく、挑戦をやめ、諦めてしまったときこそが、「試合終了」になるのだと思います。

2学期中に3年生75名と面接練習を実施しました。東京都教育委員会から出されている「自己PRカード」にそって、「将来の目標」や「就きたい職業」について質問すると、多くの3年生はしっかりと自分の考えを説明することができました。面接官として「頑張りなさい」と後押しをしたくなる面接練習でした。しかし、その一方で「まだ、考えていません。」という回答もありました。とても残念に感じました。科学的技術の進展、コロナ禍による社会の変化、世界の情勢等から将来を考えることは難しいかもしれませんが、自分のことや、社会で起きていることを基に、将来の自分について、明確な考えをもってほしいと思います。

なぜなら、「努力が必ず成果になるとは限らない。しかし、努力なしで成功した人はいない。」と言われるように、目標をもって挑戦し、努力を続けてきた人たちが成果を得ていることは事実だからです。

ぜひ、皆さんは、今年の目標を決めて、様々なことにチャレンジしてください。

特に、3年生には、目標をもって高校に進学し、そこで努力を続けていくことを願っています。そうすることが、3年後の高校卒業時に、スポーツや学習、社会に出る力等の大きな成果を得ることにつながるはずで。そのため、面接練習などで3年生の皆さんが目標を先延ばしにしている話を聞くと、そのまま社会に出てしまうのではないかと心配になります。目指す方向(目標)がないと何に努力すべきか分からないからです。

1・2年生の皆さんも、今年の目標または中学校での目標をしっかりと決めて生活していきましょう。それこそが、次のステージへの一歩につながっていきます。

人生を旅とするならば、車の前輪が「目標」であり、後輪は「努力」です。そして、「計画」という地図をもって、さあ出発しましょう。



校内書初め展



各学年のメディアスペースで書初め展が行われています。
どの作品も冬休みの課題の成果を踏まえた作品となっています。

1年生



2年生



3年生



読書マラソンの表彰

12月に行われた「読書マラソン」のクラスと個人の表彰が行われました。

◎ 各学年の優勝クラス

- 1年 4組(18,686 頁)
- 2年 2組(21,090 頁)
- 3年 4組(31,119 頁)

◎ 各学年の個人賞1位

- 1年 長江 秋楽さん
- 2年 阿部 瑞穂さん
- 3年 奥村 紗和さん



クラス賞



個人賞

1月行事予定

日	曜	行事等	給食	日	曜	行事等	給食
13	金	専門委員会 計算力コンテスト⑥ 中央委員会(昼休み)	○	23	月	全校朝礼 区連合展示会終 歯と口の健康づくり教室(1年)⑤	○
14	土	土曜授業日 マナー講座(2年)③ 中央委員会(放課後)	×	24	火		○
16	月	生徒朝礼 安全指導	○	25	水	都バスケットボール大会(6組)	6×
17	火		○	26	木	都立高校推薦入学選抜(1日目)	○
18	水	荒教研(45分授業)	○	27	金	校内書初め展終 都立高校推薦入学選抜(2日目)	○
19	木		○	28	土	漢字検定	×
20	金	区連合展示会始 英語検定	○	30	月	学年朝礼	○
22	日	都内私立高校推薦入試	×	31	火		○